

[新編]
日本の活断層
分布図と資料

活断層研究会 編

[編集幹事]

藤田和夫 今泉俊文 貝塚爽平 松田時彦 中田 高
岡田篤正 太田陽子 宇津徳治 米倉伸之 吉井敏尅

東京大学出版会

65 飯田

調査者：山崎晴雄・西田幸司；岡田篤正／山崎晴雄・山口 勝
 使用空中写真：CB-75-8 Y / CB-72-13 Y

凡 例

陸上活断層

- 活断層であることが確実なもの (確実度 I)
- 活断層であると推定されるもの (確実度 II)
- 活断層の疑のあるリニアメント (確実度 III)

短線は緩すれの低下側を、矢印は傾すれの向きを示す。

- 伏在断層
- 地震断層
- 露 頭 トレンチ調査地点

- ### 活 傾 動
- 地形面の傾き下る方向

- ### 地 震
- 1884年まで 1885年～1987年
- M 7.0 以上
 - M 6.0～6.9
 - M 5.9 以下

記号に添えた数字は発生日月とマグニチュード、太線は長さ30km以上の浅の震央を示す。

1725.8.14
6-6.5

60 甲府

調査者：清水文徳；中田 高／平川一臣・今泉俊文・清水文徳
 使用空中写真：CB-70-8 Y / CB-73-7 X / M 223 / M 401 / M 404 / M 476 / M 482 / M 484 / M 57-2-1, 57-2-1 A / M 46 A-5 / M 99 A-5 / M 910

対象事業実施区域

1898.4.3
5.9

Digital Active Fault Map of Japan

活断層詳細デジタルマップ

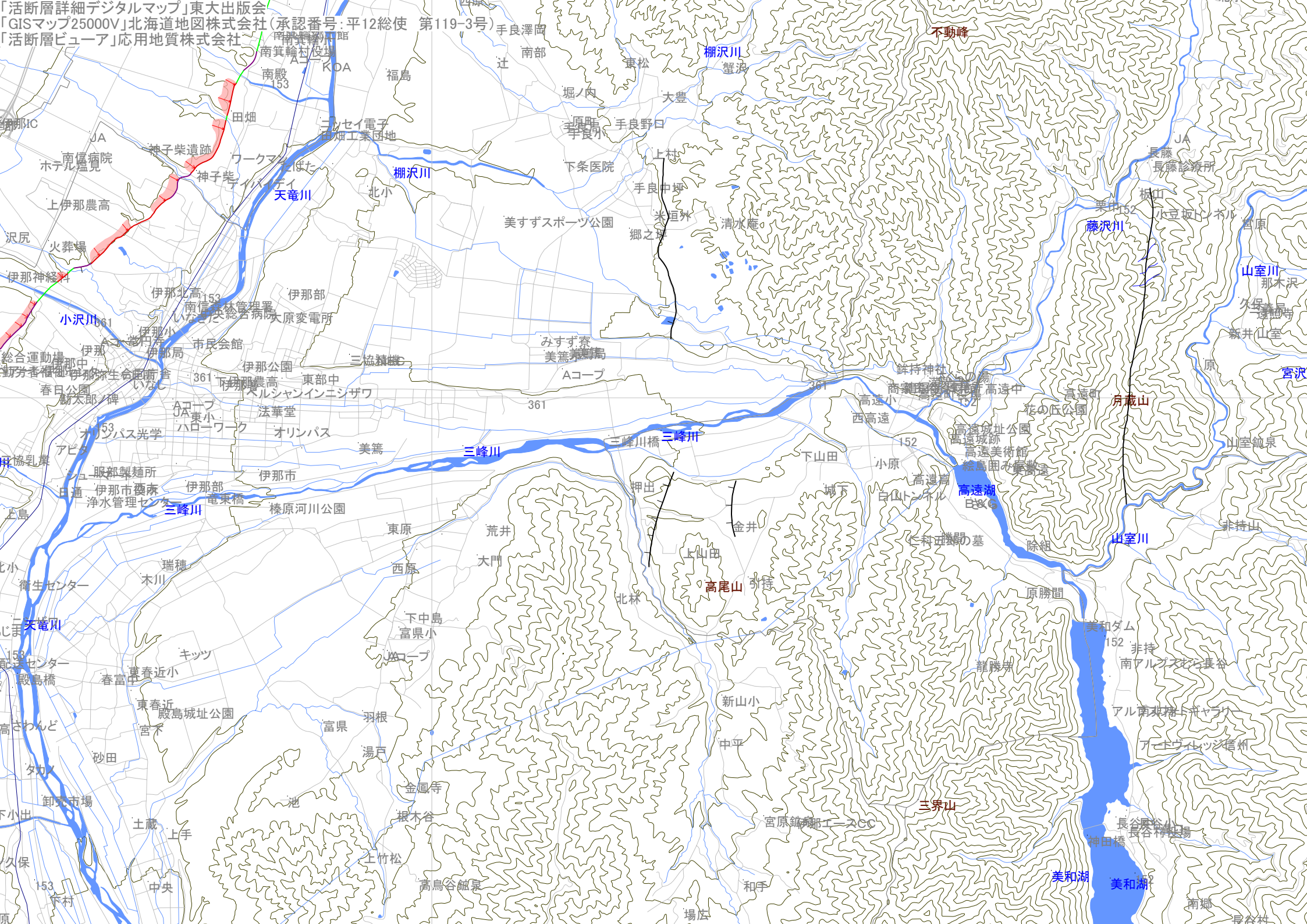
中田 高 今泉俊文 編



DVD 2枚
解説書 B5判・68頁
四六全判カラー付図 1葉

Windows 2000, XP版

東京大学出版会



最近の地質時代(第四紀)に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層

確実度 I 活断層であることが確実なもの

以下のどれかの地形的特徴をもち、断層の位置・変位の向きがともに明確であるものをいう。

- 1) 数本以上の尾根・谷の系統的な横ずれ
- 2) ひと続きであることが確かな地形面を切る崖線
- 3) 時代を異にする地形面群を切っている崖線があり、古い面ほど変位が大きい(変位の累積が認められる)
- 4) 同一の地形面の変形(撓み・傾斜など)
- 5) 第四紀層を変位させている断層露頭

確実度 II 活断層であると推定されるもの

位置・変位の向きも推定されるが、確実度 I と判別できる決定的な資料に欠けるもの。

- 1) 2~3本程以下の尾根や谷が横ずれを示している
- 2) 断層崖と思われれる地形の高側の変位基準地形が時代を異にする
- 3) 明確な基準地形がない(山地など)

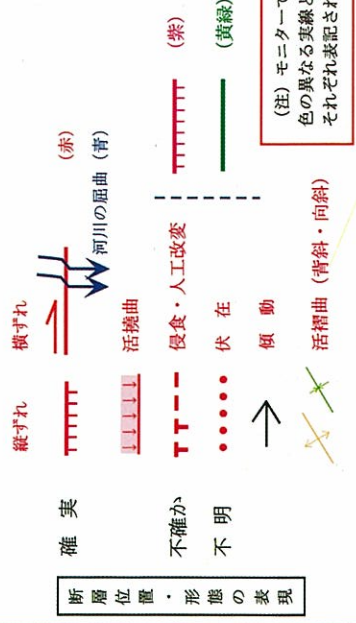
確実度 III 活断層の疑いがあるもの

活断層の可能性はあるが、変位の向きが不明であったり、他の原因、たとえば川や海の侵食による崖、あるいは断層に沿う侵食作用によってリニアメントが形成された疑いが残るもの。



最近数十万年間に概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層

活断層



推定活断層

地形的な特徴により活断層の存在が推定されるが、現時点では(断層変位地形やその変位基準の年代が)明確には特定できないもの

『日本の活断層』中の活断層で削除されたものには、
 1) 明確なリニアメントでも、その線上で地形の変位が認められないもの
 2) 第四紀層中の断層露頭のみを根拠に認定され、断層変位地形が認められないもの
 3) 直線的な急崖を挟んで山地高度の不連続があっても、その急崖基部で後期更新世の断層変位が認められないもの、などが含まれる。
 しかし、断層基部に高位段丘や中位段丘が分布していない(つまり数十万年以降の変位基準がわからない)場合には、たとえその崖が後期更新世や完新世に変位がないからといって活断層でないとは断言できないので、この場合には推定活断層とした。

図 1.1 活断層の定義と活断層図の凡例 本書(右)と『日本の活断層』(左)の比較の例

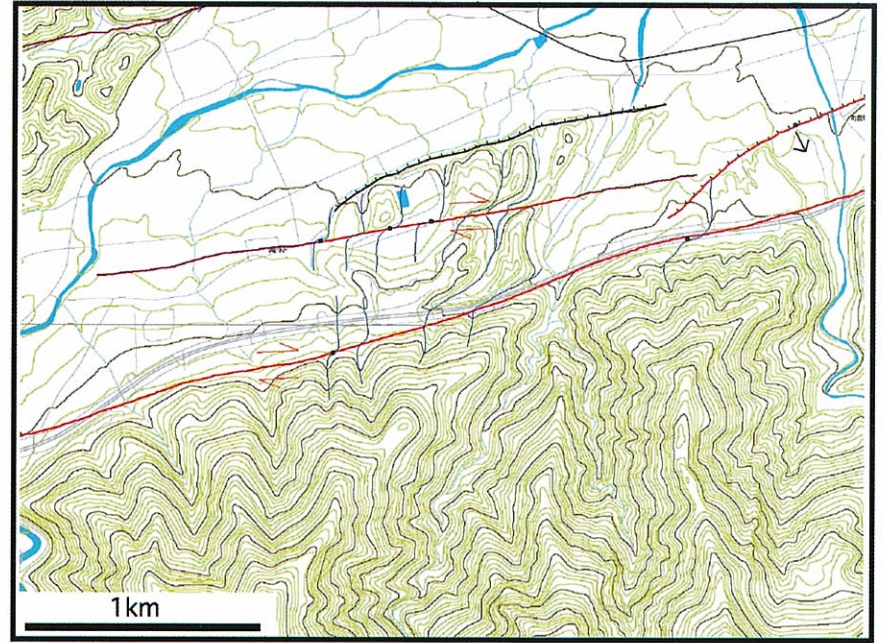
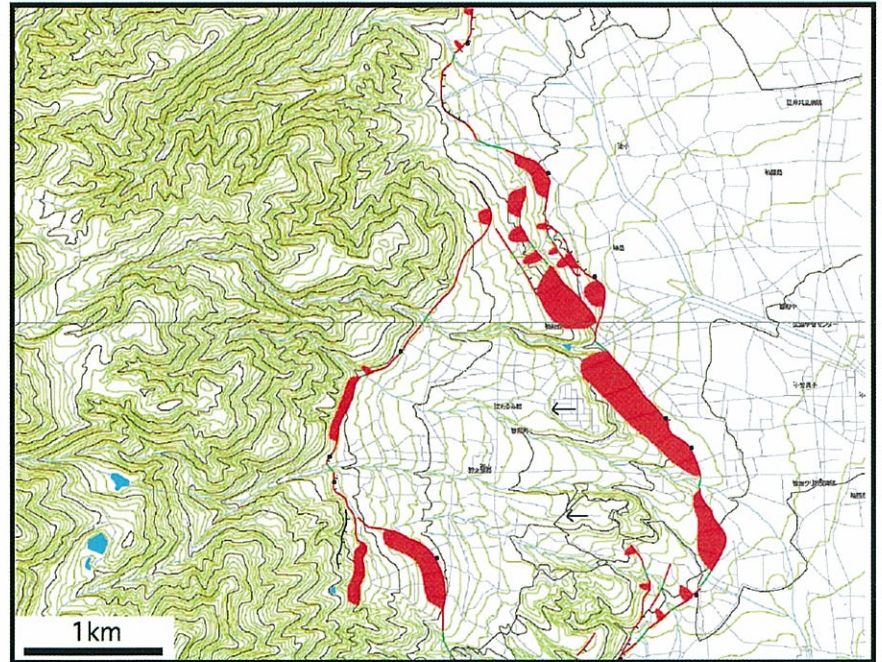


図 1.2 上:横ずれ断層の例 中央構造線活断層系・畑野断層における断層線の表示例。下:縦ずれ断層の例 米静線活断層系・甲府盆地西縁断層(市之瀬台地付近)における断層線の表示例。

層変位はあるが、累積しているかがわからない)場合も推定断層とした。

一方、鮮明なリニアメントでも、その線上に地形の変位が認められないもの、断層変位地形を伴わず第四紀層中の断層露頭のみを根拠に活断層と認定されていたもの、直線的な急崖を挟んで山地高度の不連続があってもその急崖基部で後期更新世の地形面(中位段丘や低位段丘)